

札幌市からのお知らせ

初音ミクが子どもアシストセンターを応援!

子どもアシストセンター(札幌市子どもの権利救済機関)では、友人・親子関係など子どもに関わるさまざまな悩みを幅広くお聞きしいじめなどの「子どもの権利の侵害」から救済を図る活動をしています。年間1,000人以上の方から相談が寄せられ、その半数以上が子ども本人からの相談です。

子どもアシストセンターでは、子どもたちが、悩みがあるときについてでも気兼ねなく相談できるように、子どもアシストセンターのことを身近な相談先としてもっと知ってもらいたいと願っています。

このたび、日本を代表するバーチャル・シンガー「初音ミク」を生み出したクリプトン・フューチャー・メディア株式会社様のご厚意により、子どもアシストセンターのPRのために、初音ミクのイラストを新たに描きおろしていただきました(イラスト作画:ゆにい様)。

やさしい眼差しが、見ている人の共感を誘うような素敵なミクさんですね。

春には、このイラストによるラミネートポスターを札幌市内の小中学校に配布する予定です。



「子どもの権利委員会」委員を募集します!

「子どもの権利条例」に基づき設置された附属機関「札幌市子どもの権利委員会」の市民委員を募集します。

委員会は年数回開催され、子どもに関する札幌市の施策や子どもの権利の保障の状況を検証しています。専門家も在籍しており、市民委員の皆さまには市民の立場からご意見をいただきます。

今回の公募では、高校生等(15歳から18歳)の「子ども」と、18歳以上の「大人」、それぞれ若干名を募集する予定です。応募方法等、詳細は、広報さっぽろ4月号やホームページ等でご確認ください。(応募締め切りは、4月下旬の予定です。)

多くの皆さまからのご応募をお待ちしております。

問い合わせ:

札幌市子ども未来局子どもの権利推進課

Tel 011-211-2942

子どもの権利に関する出前講座を実施しています

子ども未来局では、「子どもの権利条例の内容」や「子どもアシストセンターに寄せられる相談から見える子どもの姿」などについて、市の職員が地域に出向いて直接説明する「出前講座」を実施しています(無料)。

出前講座は、おおむね10人以上の団体、グループの皆さまにお申込みいただけます。これまで、PTAや町内会、青少年関係団体などから、多数のお申込みを頂いております。

「権利条例について知りたい」、「子どもの参加とまちづくり」、「子どもの権利を守るってどんなことだろう?」など、グループでの勉強会や研修会に利用してみませんか。

★子どもの権利条例、子どもの参加などについての申し込み:

札幌市子ども未来局子どもの権利推進課

Tel 011-211-2942

★子どもアシストセンターの活動、子どもの悩みやトラブルなどについての申し込み:

札幌市子ども未来局子どもの権利救済事務局

Tel 011-211-2946

札幌市子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目大通バスセンタービル1号館3階

SAPP_RO



電話 011-211-2942 ファックス 011-211-2943

ホームページ「子どもの権利のページ」 <http://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/>

Eメール kodomo.kenri@city.sapporo.jp

発行

平成28年(2016年)3月発行

子どもがきらりと輝くまちに



子どもの権利ニュース

第14号
平成28年3月発行

いつしょにやろうよ!

~「新川高校と近隣小学校・中学校との交流事業」~

2月26日(金)、新川小学校と新光小学校にて、新川高校の生徒による絵本の読み聞かせの授業が行われました。この取組は、高校生を中心となって小中学校の子どもと一緒に企画されました。



2つの小学校で同時開催

新川小学校と新光小学校は、新川高校(北区新川5条14丁目)から徒歩5分以内の近隣にある小学校です。新川小学校と新光小学校の1・2年生及び特別支援学級の計14クラスでは、2月26日(金)に5時限目の授業として、新川高校の生徒が小学生の児童に絵本の読み聞かせを行いました。

この日は、新川高校の生徒会や図書局の生徒28人が参加。各教室では、高校生が二人一組で担当し、2冊の絵本を丁寧に読み聞かせすると、小学生の子どもたちは興味津々で絵本に夢中になっていました。



新川西中学校の生徒数名も参加しています。

絵本の持ち方や語り方、読み聞かせの最初と最後には必ず絵本の表紙を見せてあげることなど、図書館の職員から学んだノウハウを生かして読み聞かせする高校生たち。

最初は緊張していた高校生も、次第に打ち解けて、絵本の世界を子どもたちと分かち合います。

読み聞かせの後には、フルーツバスケットやジェスチャー当てクイズなどで楽しくふれあい、教室には笑顔があふれていました。



間交流を行っていました。協議会には地域の町内会やまちづくりセンターも参画して、年間の活動を計画しています。

昨年9月には、小中学生が考えた「元気になれる標語」や「交通マナーの標語」を募集し、新川高校の生徒がデザインしたキャラクターのイラストを添えたラミネートポスターにして数枚ずつそれぞれの小中学校に配っています。



また、昨年11月には、近隣の公園や歩道で、合同で落ち葉拾いを行い、地域の美化に貢献しています。この活動は、既に11年前から取り組んでいることです。

今回の「読み聞かせ授業」は、新川地区でも初めての試みでした。授業で小学生相手に話をして子どもたちの視線を浴びるのも、高校生には初めてのこと。小学生にとっても高校生にとっても、とてもよい刺激になったようでした。

高校生が街の魅力を発掘！　—しろいしおもしろい誌—

白石区役所が発行する区民のための情報誌で、地元の高校に通う高校生が、企画、取材、記事作成に大活躍しています。

「しろいしおもしろい誌」という、白石区内の街の魅力を発信しているフリーペーパーがあります（地域新聞ふりっぱーに中綴じ：白石区配布限定）。昨年7月と10月に発行された「しろいしおもしろい誌」では、それぞれ札幌東高校ボランティア部の生徒たちと、白陵高校の生徒たちが、匠の技を受け継ぐ地元の「職人たち」を取り材してまとめた記事が掲載されています。



一昨年にも、しろいしおもしろい誌で、「白石スイーツロード」と称して白石区内のスイーツ店10店舗を紹介したという、札幌東高校のボランティア部の皆さんにお話を伺いました。

「白石区の地域振興課からお話しがあって、ボランティア部で記事の作成に挑戦しました。昨年は、取材先の職人さんに日程を調整していただいて、帽子などに刺しゅうを施す刺しゅう職人の方、非加熱の生の豆腐にこだわる豆腐職人の方、新たなセンスでジーンズ着物を提案する染め物職人の方、大正時代からの伝統を守り続けるかまぼこ職人の方と、4人の職人さんについて、部員で手分けして取材しました。

どの分野でも、職人さんの繊細な感覚と熟練した技には、部員のだれもが驚かされました。普段の生活では味わえない経験ができて、世の中の見方が変わりそうです。」（部長の太田百香さん）

年間で様々な慈善活動を行っている札幌東高校のボランティア活の皆さん。「誰かのためにと思ってボランティア活動をしていましたけど、色々なことが経験できて、とても自分のためにもなってます」とのこと。
「今年もまた記事作成に挑戦したいです！」と、意気込みを語っていました。



平成27年度さっぽろ「子どもの権利の日」事業

『子どもの権利ポスター展』

札幌市では、子どもが幸せに過ごすことができるまちを目指して、「子どもの権利条例（子どもの最善の利益を実現するための権利条例）」を定め、毎年11月20日を、「さっぽろ子どもの権利の日」としています。

今年も権利の日にちなみ、市内の子どもから、子どもの権利の理念を伝えるポスターを募集し、「大丈夫 ひとりじゃないよ」、「みんな友だちになれるよ」といった標語入りの作品をたくさんいただきました。



最優秀賞作品→

→ポスター展の様子

集まった作品の中から選考した優秀作品を、今回初めて子どもの権利の日を含む11月18日（水）～24日（火）までの1週間、さっぽろ地下街オーロラスクエア オーロラタウンに展示し、毎日多くの方に見ていただきました。

これからも、より多くの方に「子どもの権利」を身近に感じていただけるよう、啓発活動を行っていきます。



僕たちの未来予想 / 山賀 菜々子 / 伏見中学校 / 中学3年生

『子どもまちづくりコンテスト』

11月21日（土）に開催された「子どもまちづくりコンテスト」は、今回で3回目を迎え、まちづくりに関わる活動をしている4つの団体と、道内で最も早く「子どもの権利に関する条例」を制定した奈井江町の子ども達が参加してくれました。

各団体からこれまで行った活動や、これから取り組みたいと考えている活動について発表し合い、意見交換を行いました。

市内から参加した各団体の発表内容をご覧ください。

もみじ台児童会館子ども運営委員会「MPS」

☆ 子どもまちづくり賞 ☆

毎年地域で行われる夏祭りで、お年寄りと遊んだり縁日コーナーを担当するなど、色々な活動に取り組んでいます。

これからやってみたい活動は、近くの熊の沢公園でもみじ台運動会をすることです。赤ちゃんからお年寄りまで楽しめて、みんなが仲良くなれるような運動会を実現したいです！



奈井江町子ども会議
【特別参加】



チームCoミドリ(こみどり)

☆ 未来賞 ☆

旧真駒内緑小学校跡にある「Coミドリプレーパーク」では、子どもが自分の責任で自由に遊べます。大人のプレーリーダーに見守られながら、グラウンドで工作やたき火、教室では楽器も使え、パーティーもできます。

今年の冬は、かまくらや雪合戦で遊びたいです。みなさんも遊びに来てください！



札幌市立手稻西中学校 生徒会 福祉局

☆ 実力賞 ☆

ユネスコスクールに加盟して、大きな視野で考えたことを地域で実践しています。校区内の清掃や養護学校との交流、募金活動、資源回収を行い、ボランティア活動にも参加しています。

今後は地域の清掃活動や挨拶運動、まちの良いところを紹介する活動を行っていきたいです！

川沿少年消防クラブ

☆ 別格賞 ☆

普段は、チラシを配るなど防火を呼びかける活動、消防学校などの訓練、川沿地区の防災マップを作ったりしています。今年作成したマップは「文部科学大臣賞」を受賞しました。

